



受け容れる

校長 佐藤 紀明

「うけいれる」という言葉は、「受け入れる」と「受け容れる」の二つの表記があります。

「受け入れる」とは、相手の欲求や感情を自分の中に入れてしまうこととあります。物やヒトナド、自分のところに受け入れられたり、他人の意見や提案を承認して受け取ったり、現状や状況等をそのまま認めたりするなど、広範な場面で使用されていて物理的、心理的、社会的な状況に対応していることが多いです。

一方、「受け容れる」とは、(ありのままを認め、自分の容量を広げること)とあります。単に迎え入れるだけでなく、心から受け入れ認めたり、積極的に受け入れを支援したり、心の奥深くで受け止めるニュアンスが強く、単なる受け入れ以上に受動的でなく、積極的、共感的な行動を示していることが多いです。「受け入れる」に比べて、文学的でより深い意味合いや感情を伴う表現だと思えます。

学校で新生を「うけいれる」を考えると、新生を「受け入れる」は、新生を学校に迎え入れるという物理的なことになりませんが、新生を「受け容れる」となれば、新生を心から歓迎して、一人ひとりの個性や背景を尊重するといった意味合いになります。このように表記によって違いがあり、教育や福祉では「受け容れる」が多く使われています。

読売巨人軍、ニューヨーク・ヤンキースで活躍した松井秀喜選手のインタビューでは

「しようがない」との表現が多くありました。「しようがない」とは、手立てがない、制御不能という意味ですが、諦めや、開き直りといった「どうでもいい」思考ではありません。

シーズンが終わった時「不完全燃焼という感じだけど、しようがない」、負けた時には、「しようがない。また明日、頑張ります!」、アウトになった時「悪い当たりではなかったけれど...。しようがない」、守備でうまく返球できなかった時「いい球だったけど、最後はバウンドが悪くなったな...。しようがない」、年齢が話題になった時「衰えは感じないけど、これから先、飛躍的なパワーアップを望むのは難しいだろうね。寂しい? しようがない」など数え出したらキリがないくらいあります。

松井選手が「しようがない」を使うのは、自分でコントロールできない事象についての場合です。過去の出来事だったり、普遍的な自然の摂理だったり、過去は変えられず、加齢も止められないものではないです。つまり、変えられないことを無理に変えようとはしていないのです。制御不能な事象については、そのまま受け容れて、「しようがない」と表現しています。それは「どうでもいい」的ではなく、あくまで前向きな思考による言葉です。自分でコントロールできることにエネルギーを集中して注ぎ、「明日、頑張る」という発言、行動へと繋がっていることが良くわかります。

子どもが生まれた時、親は子どもをこの上なく愛おしく、存在そのものを受け容れます。

ところが、ある統計によると母親の9割は「育児が辛いことがある」といい、8割弱が「子どもが可愛く思えないことがある」との結果が出ています。その理由として、「子どもが思い通りにならない」「子どもの世話により心身が疲労する」「育児に追われて時間や行動に自由がなくなる」等、挙げられています。

実際、若い子どもを祖父母や親戚など多くの大人が見守っていた頃とは違って、核家族化した現代では、両親、特に母親に子育ての負担がかかりがちになっているのが現実です。

世の中に目を向けると、子ども達は学校で能力によって選別され、成長すれば会社でも選別されています。親は子どもに、良い学校、良い会社に入って欲しいと望み、幼稚園から「お受験」が始まるのが当たり前になっています。そうした中でその評価から零れ落ちた子ども達は本当にダメな子でしょうか。社会は、画一的な評価しかしないとします。傍らでずっと見守り続けてきたからこそ分かること、その子ならではの良い面は沢山あるはずですが、聖ステパノ学園では、優しい心・思いやりを大切にしています。思いやりは、少しずつ他人を理解し、ありのままの姿で受け容れることができるようになります。私達は他人の悪いところばかりに目を向けてしまいがちですが、一人ひとりの「良さ」を認めて「受け容れる」ことを大切にしたい学校でありたいと思います。

小さな積み重ね

小学校1年担任 上戸 基夫

今年も小さなステパノつ子十一人が学校の門をくぐりました。校章もとても誇らしく光っています。

今年度から、学園は通常通り行事をおこなっています。既に過去の出来事のようにですが、三年前から始まった新型コロナウイルスの流行で、学校は全ての活動停止を余儀なくされました。本来、子ども同士の交わりと学び合いを大切にしている学園であったはずが、子ども同士が距離をとり、教員との距離がはなれ、全てにおいて距離をとる生活に変わってしまいました。そんな期間が三年も続くといつの間にか心まで距離ができてしまったように感じます。

先日、小学校1年生から中学校3年生までを縦割りにして、グループで食事をする「ニコニコランチ」というステパノ名物ともいえるイベントが行われました。上級生が一年生のクラスに来て、グループの子を連れていくのですが、一年生は顔がこわばる程の緊張です。上級生も久しぶりなので、一年生の扱いもぎこちなく、お互い妙な緊張感で教室を出ていきます。食事中、緊張で涙ぐんでしまう子どもも……。ですが、昼食後のゲーム大会では、すっかり気持ちが打ち解けて、満面の笑顔で上級生と手をつなぐ一年生でした。そんな様子をみてみると、改めて当たり前

にできていたことができなくなった影響の大きさに気付かされます。子ども達は一人で成長していくものではありません。楽しいことも辛いことも経験し、子ども同士の交わりの中から少しずつ自分の力を身につけ、心を育てていくのです。

ステパノが大切にしている教育の中に、心の教育があります。人を想う心、困難な状況に直面しても、それを乗り越え前向きに対処していける心、もうひとつ頑張る心。子ども達の交わり、教員との交わりを通して、日々心が育まれているのです。

前述のニコニコランチは小さなイベントです。そして、心の交わりは毎日で考えると小さなやりとりです。ですが、その小さな積み重ねがステパノの大きな流れになっているのだと、新しい一年生を通して改めてその事に気が付かされる毎日です。



真面目で一生懸命

中学校1年担任 二挺木 健太

中学校1年生が入学し、早くも2ヶ月が過ぎました。遠足や定期テストが終わり、少しずつステパノでの中学校生活に慣れてきたこともあれば、初めてのことや学習内容の難しさ、中学校生活の忙しさに戸惑っていることもあります。それでも自分たちなりに頑張つて取り組む様子が見られます。

ステパノの子どもたちの良い所を挙げるとたくさんありますが、その一つとして、真面目で一生懸命なところが良い所だと思います。取り組みペースや内容は一人ひとり違いますが、それぞれができることをできるペースで真面目にコツコツと取り組んでいます。その結果、一人ひとりが様々な場面で成長が見られています。中1でもロッカーの整理整頓を毎日行い、キレイに整頓できるようにしてきたこと、部活動ではドリブルやシュートが上手になったことなど一人ひとり違いはありますが、目に見えて成長しています。

正直、真面目にコツコツと取り組んでいくことは自身苦手です。すぐに結果が出ないこともあり、根気が必要ですし、時には自分に甘えてしまい、今日はサボってしまったと誘惑に打ち勝てない時も多くあります。そんな自分が苦手としていることを子どもたちが一生懸命取り組んでいると、「自分も頑張らなきゃ」、「見習おう!」と私自身もいつも大きな刺激をもらいながら子どもたちと生活しています。



中学生の先輩たちが日々の生活や行事に対して真面目で一生懸命取り組んでいる姿を中学校1年生も見ています。先輩たちの姿を追い続け、学年が上がるたびに後輩たちのお手本になれるような立派な中学生になってくれることを期待しています。

春の遠足に行きました！

せんせいあのね、あずまやまこうえんでローラーすべりだいであそんだよ。くるくるまわったよ。たのしかったよ。 小学1年 K・Y

春の遠足であずま山公園に行きました。一ばんたのしかったのは、ひろばでおいもさんごころをしたことです。KくんとSくんとNくんとあそびました。たのしかったです。 小学2年 K・Y



えんそくがたのしかったです。江ノ電にのるのがうれしくて、はせのところでじんじや二ついったのしかったです。おべんとうたべるのがおいしかったです。トンビにとられなくてよかったです。足がつかれていたけどがんばりました。 小学3年 K・Y

明日は遠足です。わくわくが止まりません。ねむれないかもしれません。すごく楽しみです。

今日は遠足でした。みんなで電車に乗って鎌倉へ行きました。最初に、長谷寺へ行きました。階段を上ったら大きいお寺と小さいお寺がありました。てんぼう台もあって、鎌倉を見渡せました。そこで、集合写真をとりました。

それから、高德院へ行き、大仏を見ました。大仏は大



きかったです。

その後、由比ガ浜へ行って、お弁当とおやつを食べました。公園ですべり台をしました。持つところがなかったから少しわかったです。次に、くるくる回る遊具で遊びました。お友達が回してくれて、すごく楽しかったです。

今日は、すごく楽しくて最高の一日でした。また行きたいです。 小学4年 E・Y

今日は、旧岩崎邸と上野動物園に行きました。最初は、大磯駅から上野東京ラインに乗って上野まで行きました。まずは、旧岩崎邸に行きました。すごく大きくてびっくりしました。中はすごく豪華で壁紙はなんと一億円もしてこんな高い家には全財産を使っても住めないなと思いました。とてもきれいな家でした。次に、上野動物園にいきました。最初にお弁当を食べました。とてもおいしかったです。動物は、パンダ、サル、シロクマ、アザラシ、クマ、ゴリラ、バク、夜の森、鳥という順番で見ました。いつもだったら一時間くらい待つパンダが十分くらいで見られてうれしかったです。心がいやされました。帰りも同じルートで帰りました。とても楽しかったです。 小学5年 W・S

まずさいしょに電車で大磯から上野駅まで行きました。それから班のみんなと旧岩崎邸まで行きました。ぼくたちの班の先生は赤田先生でした。すごくこうかそうなものがいっぱいあってびっくりしました。それで一番びっくりしたのは壁紙で、一億円するのびっくりしました。その後、

ざしきの場所に行つて、ちよつと班のみんなと休憩しました。これまで一度も休憩していなかったのちよつとくたびれちゃいました。その後、上野動物園でパンダをみました。笹を食べているのがすこかわいくてまるで夢の動物園かなと思えました。その後、班のみんなでごはんを食べました。みんなのごはんがおいしそうでした。そのあとは、班のみんなでいろいろな動物をみました。最初はサル山を見ました。サルがいっぱいいて、みんなお尻が赤くてちよつとおもしろかったです。そのあとはクマを見ました。すこかわいかったです。 小学5年 K・M

今日は、旧岩崎邸庭園・恩賜上野動物園に行つてきました。旧岩崎邸庭園では、天井やゆか、かべ紙がものすごくうつくしくきれいでした。でも、今の敷地は当時の3分の1しかないのがかなしかったです。でも和館ではものすごくすてきな所もあり、休みの場所ではみんな「つかれた」と言っていました。たしかにそうでした。恩賜上野動物園ではパンダがものすごくかわいかったです。とくに、竹を食べているところです。自由行動では、いろいろな動物に会いに行けてうれしかったです。 小学6年 S・A

今日は、旧岩崎邸庭園・恩賜上野動物園に行つてきました。旧岩崎邸庭園では、天井やゆか、かべ紙がものすごくうつくしくきれいでした。でも、今の敷地は当時の3分の1しかないのがかなしかったです。でも和館ではものすごくすてきな所もあり、休みの場所ではみんな「つかれた」と言っていました。たしかにそうでした。恩賜上野動物園ではパンダがものすごくかわいかったです。とくに、竹を食べているところです。自由行動では、いろいろな動物に会いに行けてうれしかったです。 小学6年 S・A



ドキドキワクワクの入学礼拝式を迎えた新一年生の日記をご紹介します。

今日は入学式を行いました。入学式で校章をもらう時にきんちようしました。新しい友達が入ってきてともうれしかったです。

中学生でやりたいことはまず勉強で、理科や社会、数学が楽しみです。昼休みはサッカーや鬼ごっこを友達と遊びたいです。中学生がんばります。

中学1年 O・W

今日は入学式でとてもドキドキしました。あいくの雨でしたが、とても心に残る入学式でした。ステパノにはとてもやさしい先ばいや仲間がたくさんいるので、明日から学校に行くのが楽しみです。部活では、バスケットボールをやりたいと思っています。

湘南平で新入生歓迎会を行いました。

金曜日に新入生歓迎会をしました。まず、しっぽ取りゲームをしました。取られないで逃げ切れました。次にどろけいをしようとしたら、雨がふってきてどろけいができませ

んでした。でも、しっぽ取りがたのしかったです。ステパノに帰る時に、雨で山の土がどろどろで転びました。またやりたいです。



中学3年 H・K

今日は学校で新入生歓迎会をしました。最初はレリーフに集合して湘南平へ向かいました。

山道も綺麗で、まるでジブリの世界っぽくて凄

くワクワクしました。

山を登って頂上に着き、曇りで海も奥まで見えなかったけれど、神秘的な気持ちになりました。お手洗い休憩が終わって、最初は僕たち中3で考えたしっぽ取りをやりました。1回戦はH君に取られてしまいました。2回戦は自分達のチームを守って最後まで残れました。泥警もやる予定でしたが、雨が降って中止になり、下山しました。

給食を食べ終わってホールに移動し、自己紹介をしました。本当は雨天の時のゲームをやるうと思いましたが、時間がなくて今日は自己紹介で終わりました。でも、思い出に残る新入生歓迎会になって1年生の皆を楽しませる事ができて良かったです。

爽やかな春の晴天の中、春の遠足に行きました。

今日は春の遠足でした。たくさん歩いて坂を登って山の道に入りました。階段をたくさん登ってゴールにたどり着きました。お昼はお弁当とおやつを食べました。その後、電車に乗って温泉にも行きました。とっても気持ち良かったです。

中学2年 K・T

来年、中学3年生になったら班長か副班長になりたいなと思いました。今の中3を見て、来年も良い中3になって、良い背中を見せたいなと思います。来年は私たちが中3だからがんばりたいと思います。

今日は遠足でした。縦割班だったので、先輩たちのことを見ていて多くを学べたと思います。秋の遠足では今の先輩たちをまねして、ちゃんと後

輩たちを引っ張っていける存在になれるといいなと今日改めて思いました。

今日はまず、二宮尊徳記念館に行きました。二宮尊徳の生まれた家にも行きました。結構歩いて疲れたけど、いい思い出になったらしい運動だったと思います。西平畑公園では、先輩後輩とも交流ができて、楽しかったです。また機会があったら行きたいと思いました。



中学3年 N・S

今日は遠足で尊徳記念館や万葉の湯に行き、自分は班長でした。記念館ではガイドの人が尊徳に関することをわかりやすく教えてくれました。中を回ると、尊徳が実際に使っていたクワやぞうりがありました。その後は西平畑公園にいくために二時間くらい歩きました。途中、急な階段が続いて疲れましたが、お弁当には唐揚げやおにぎりが入っていて美味しかったです。最後に電車に乗って万葉の湯に行きました。温泉から出ると、体が楽になって温泉の効果に驚きました。遠足は疲れましたが、普段できない活動を友達とできて楽しかったです。班長としては、声かけや周りをもっと見ないといけないなと思いました。

【編集後記】今年度からステパノだよりの様式と発行回数が変わりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(ひ)

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

校長 佐藤 紀明

ステパノだよりの編集委員会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇二四年七月八日(月) 発行第287号